

議会だより

* 特集 *

フェルミエ那珂
地域おこし協力隊
インタビュー



写真：清水洞の上公園

Contents (目次)

特集	2
議案等審議	4
一般質問（質問者8名）	9
閉会中の議会活動	14
次回定例会の開会予定	16



* 特 集 *

フェルミエ那珂 綿引桂太会長 地域おこし協力隊 入江紫織さん インタビュー

今回の特集は、コロナ禍の中でも、新しい取り組みを積極的に行っているフェルミエ那珂の綿引会長と、その取り組みを支える地域おこし協力隊の入江紫織さんにお話を伺ってきました。



「地域おこし協力隊」とは、都市部から地方へ移住し、地域おこしを支援する人材のことです。隊員たちは地域の人材や資源を繋ぐまちづくりのコーディネーターとなって、それぞれのプロジェクトに挑戦します。

「那珂市のおいしいをたくさんの人に届けたい！」

フェルミエ那珂と地域おこし協力隊の挑戦

フェルミエ那珂は、J A 常陸、農業法人、個人農家、農産物加工業者、飲食店など47名からなる団体です。

安全・安心で質の高い農産物の生産や多様な事業者との連携や販売戦略の構築、新たな食の流通などのアグリビジネスを積極的に展開し、農家所得の向上と地域

農業の活性化を図ることを目的として平成29年4月に設立されました。

これまでは主にマッチングフェアを開催し、生産者が自ら農産物を実需者にPRして販路拡大のきっかけを作り、新たな取引先の獲得につなげる試みを行ってきました（昨年はコロナの

影響からオンラインで開催）。

綿引会長は、昨年、コロナ禍で農家も減収に苦しむ中で、これまでと違った取り組みが必要だと感じていた時に、変化をもたらしにくれたのが地域おこし協力隊の入江さんの存在だったと言います。

入江さんは、那珂市における農業の課題を、「農家自身が生産する農作物を良いものであると認識する」「その先の一步を踏み出すために誰かの力を必要としている」と感じたそうです。初めに取り組んだのは、コロナ禍で野菜の消費量が落ち込む中、少しでも新鮮



地域おこし協力隊
入江 紫織 さん



フェルミエ那珂
綿引 桂太 会長



な那珂市産の野菜を消費者に届けようと、ドライブスルー形式での野菜の詰め合わせBOXの販売でした。この取り組みはその後も継続され、月に一回定期的に開催されています。

また、ドローンの使用及び購入に向けた勉強会を企画するなど、農家の基礎体力を上げる事にも取り組んでいます。

今年1月には自らECサイト（インターネットの店舗）「フェルミエ那珂 マルシェ」を立ち上げ、「フェルミエBOX」恋するフィナンシェ（かぼちゃの焼き菓子）「フルムーンほしいも」などの商品が遠方の方でも手軽に購入できるようになりました。

入江さんは、「ECサイトの商品の充実」「生産性向上のための勉強会」「出張いい那珂マルシェ」「大手ECサイトとの連携」等々、まだまだ取り組みたいことが沢山あると嬉しそうに話してくれました。

綿引会長は会談の最後に、「企画力と実行力に今後も期待している、自由な発想で思い切りやってくれたらいい」と娘を見守るような温かい眼差しで結んでくださいました。

フェルミエ那珂の今後の活動が楽しみです。



QRコード



ECサイト「フェルミエ那珂 マルシェ」

●令和3年 第2回定例会●

那珂市の

こんなことが決まりました

◆会期 18日間 6月1日～18日

《傍聴者 80人》

今回提出された議案等は

市長提出案件…19件

請願・陳情…1件

議員提出案件…1件

計21件

提出された議案等とその結果（賛否が分かれた案件はありませんでした。）

議案等番号	議 案 等 名	内 容	結果
報告2	専決処分について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定）	市の過失による事故等に対する損害賠償の報告。 （公用車の物損：19万194円、市道関係事故：8万9684円）	—
報告3	令和2年度那珂市一般会計繰越明許費繰越計算書について	26事業、合計16億5083万円繰越。	—
報告4	令和2年度那珂市下水道事業会計予算繰越計算書について	1事業、838万2千円繰越。	—
報告5	令和2年度那珂市一般会計継続費繰越計算書について	1事業、800円繰越。	—
報告6	令和2年度那珂市水道事業会計継続費繰越計算書について	2事業、合計3300万円繰越。	—
議案33	専決処分について（那珂市税条例の一部を改正する条例）	地方税法等の改正に伴うもの。主な内容は、個人住民税における給与等の支払を受ける者が給与等の支払者に対し電磁的方法での申告書記載事項を提出する場合についての要件緩和など。	承認
議案34	専決処分について（那珂市都市計画税条例の一部を改正する条例）	地方税法等の改正に伴うもの。主な内容は、都市計画税（土地）の負担調整措置の継続など。	承認
議案35	専決処分について（令和3年度那珂市一般会計補正予算（第2号））	歳入歳出それぞれ6088万4000円を増額し、総額を209億8799万2000円とするもの。主な内容は、子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）の計上など。	承認
議案36	那珂市税条例等の一部を改正する条例	地方税法等の改正に伴うもの。主な内容は、個人住民税の扶養控除における国外居住親族の取扱いの見直しなど。	可決
議案37	那珂市固定資産評価審査委員会条例等の一部を改正する条例	「申請書等の押印及び署名の見直しに関する指針」に基づき押印又は署名について規定している関係条例の一部を改正するもの。	可決

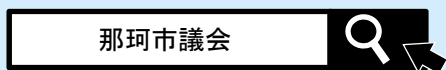
議案等番号	議 案 等 名	内 容	結 果
議案38	那珂市原子力発電施設等立地地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例	原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法第10条が適用される場合等を定める省令の改正に伴うもの。内容は、条例の適用期限を令和5年3月31日まで延長するもの。	可決
議案39	那珂市産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例	市内の産業活動の活性化及び雇用機会の創出を引き続き図るため、条例の適用期限を令和5年3月31日まで延長するもの。	可決
議案40	那珂市復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	東日本大震災復興特別区域法の改正に伴い、条例失効日を課税免除を受けられる最終年度の令和9年3月31日とするもの。	可決
議案41	那珂市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例	無許可による土砂等の埋立て等に対して迅速な行政指導を行い、市民の安全と良好な生活環境の保全及び災害の防止に資するため条例改正するもの。主な内容は、事前協議の義務化など。	可決
議案42	令和3年度那珂市一般会計補正予算(第3号)	歳入歳出それぞれ1327万2000円を増額し、総額を210億126万4000円とするもの。主な内容は、感染症対策消防資機材等整備事業の計上など。	可決
議案43	物品売買契約の締結について	消防団第8分団第1部配備の消防ポンプ自動車を更新するため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例に基づき議会の議決を求めるもの。	可決
議案44	市道路線の廃止について	市道路線1件の廃止のため、道路法に基づき議会の議決を求めるもの。	可決
議案45	市道路線の認定について	市道路線1件の認定のため、道路法に基づき議会の議決を求めるもの。	可決
議案46	令和3年度那珂市一般会計補正予算(第4号)	歳入歳出それぞれ2億6909万円を増額し、総額を212億7035万4000円とするもの。主な内容は、新型コロナウイルスワクチン接種事業の増額など。	可決
発議1	那珂市議会会議規則の一部を改正する規則	多様な人材が市議会で活動するための制約要因の解消及び、デジタル化政策の一環としての押印廃止等について市議会会議規則の改正を行うもの。	可決
請願1	「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書」を国に提出することを求める請願	提出者：茨城県医療労働組合連合会 後藤 朋子	趣旨採択



本会議の様子をライブ中継で配信します！

令和3年第3回定例会より、本会議の様子を動画サイト「YouTube」でライブ中継します。パソコンやスマートフォンなどから視聴可能です。

【パソコンの場合】



→「映像配信」
→「YouTube 動画サイトへ」をクリックすると、「那珂市議会 YouTube チャンネル」へ移行します。

【スマートフォンの場合】



那珂市議会
YouTube チャンネル

左のQRコードを読み取ってください。

◆議案第41号

那珂市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例

那珂市において無許可による土砂等の埋立て事案が発生していることから、無許可による土砂等の埋立て等に対して迅速な行政指導を行い、市民の安全と良好な生活環境の保全及び災害の防止に資することを目的として改正するものです。

主な改正内容は、

- ①事前協議の義務化
許可申請前に事業計画について協議、指導の実施
- ②条例適用範囲の拡大
適用面積の下限値であった500平方メートルを撤廃し、ゼロ平方メートルから適用
- ③申請者の欠格条項の追加
心身の故障によりその業務を適切に行うことができない者等を追加

施行日 令和3年7月1日
Q 県との連携は強化されていますか。

A 下限値の撤廃により早い段階から県と連携して対応することができるようになります。

Q 下限値の撤廃により住宅の造成などでも許可が必要にならないのでしょうか。

A 規則で例外規定を設けており、家庭菜園、住宅の造成、農地の改良(1000平方メートル以内)などは該当しないことになりました。

◆報告事項

「おくやみデスク」の開設について

7月1日から市役所(本庁)1階の市民相談室内に、「おくやみデスク」を開設します。これは、遺族等が各課で行う諸手続きについて一元的に取り扱うことにより、遺族の負担と不安の軽減を図ることで、市民サービスのさらなる向上

と窓口業務の効率化を図るものです。

事前予約制で、予約枠は平日の午前9時から、午前10時30分から、午後1時30分から、午後3時からの4枠です。なお、事前予約なく来庁された際には、改めて予約をしていただくか、またはこれまでどおり各課担当窓口での手続きをご案内します。

Q 手続きにかかる時間はどのくらいでしょうか。

A 人により必要となる手続きが変わるため、明確な時間を想定することは難しいです。



おくやみデスク (市民相談室内)

Q 事前予約制にするメリットはなんですか。

A これまでは名前や住所などそれぞれの申請書ごとに窓口で記入が必要でしたが、予約制にすることで、申請書の種類に応じて事前に名前や住所を印刷することができ、そのため利用者の負担軽減と時間短縮につながると考えています。

教育厚生常任委員会

◆報告事項

保育所(小規模保育事業、分園・増築)の設置・運営者の募集について

0～2歳児の保育需要が当面の間、高い状態での推移が予測されるため、新たに保育施設を整備する事業者を募集するものです。選定方式はプロポーザル方式(企画立案方式)により事業者を決定します。

募集施設規模は、地域型保育事業を2か所、または既存施設の増設・分園を1

か所と地域型保育事業1か所のいずれかの組み合わせとします。整備地域は市内全域ですが、保育需要の高い菅谷地区・五台地区への立地については、審査で高く評価します。

スケジュールは、令和3年6月28日から受付を開始、11月と12月に選定委員会を行い、令和4年度から施設整備、令和5年4月から保育所開所となります。

なお、保育所施設整備および運営費等に関しては補助金を活用します。

Q 令和5年4月の開所までの待機児童の支援策はどのようになっていますか。

A 認可外保育所等の紹介や保育施設の弾力的運用に協力してもらう事を考えています。また、2歳児については、満3歳児になれば幼稚園に入園するなどの可能性もあることから、保育園に限らず、ほかの利用ができないか、保護者の希望が保育園に偏らないようにしているところです。

◆報告事項

かわまちづくり支援制度 活用事業の進捗状況について

国の「かわまちづくり支援制度」の活用による那珂川河川敷（戸多地内）の整備状況について報告するものです。

令和元年度から工事が開始され、国の整備事業として多目的広場、原っぱ広場を含めた敷地全体の整備、堤防の階段型観客席、ワンド護岸等の整備を実施しました。令和2年度には市の事業により原っぱ広場の表面整備や駐車場の整備を行い、多目的広場の芝張りには日本サッカー協会よりポット芝の提供を受け、地元のみちづくり委員会や自治会などの多くの市民のかたと実施しました。

今後のスケジュールについては、今年度は原っぱ広場の芝の播種、桜つつみの整備として桜の植樹とベンチの整備、進入道路の舗

装、常設トイレの整備等を倉庫の建設と併せて実施していくとのことでした。そのほか、施設の名称の募集、設置及び管理に関する条例の制定、完成後の管理に関する関係団体との協定の締結、オープニングイベントの検討などを令和4年4月の供用開始に向けて進めていくとのことでした。

Q 当施設の名称を募集するとのことですが、どのような計画なのでしょう。

A 7月の「広報なか」でお知らせをして募集をしていく計画になります。

原子力安全対策常任委員会

◆報告事項

広域避難先における避難 所数の変更について

日本原子力発電東海第二発電所の原子力災害に備えた広域避難計画で受け入れ可能人数が不足していることがわかり、避難先となる桜川市、筑西市に新たに避

難所を追加することが報告されました。44ヶ所を追加して受け入れ不足は解消するが、施設数は104ヶ所に増加する予定です。

今後、避難所数の増加に伴い、現在の自治会ごとの避難所指定だけではなく、ハブ機能を備えた中継避難所を設けて指定する方式なども検討するとのことでした。

Q 避難所が増えることで、ハブ機能を備えた中継というの、その一つの方法だと思いますが、8地区ごとに中継避難所を設けるのは数が多く無理があるのではないのでしょうか。

A 一つの例として説明をしました。ハブとなる中継避難所の数を幾つにすればより効果的になるのかは、今後、桜川市、筑西市と検討をしていきます。

請

願

陳

情

今回の定例会で採決した請願・陳情の概要をお知らせします。
《請願 1件》

請願第1号

「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書」を国に提出することを求める請願

趣旨採択

水戸市城南3-9-20

茨城県医療労働組合連合会

執行委員長 後藤 朋子

新型コロナウイルス感染対策の教訓から、国民のいのちと健康、暮らしを守り、新たなウイルス感染や自然災害などの事態の際に経済活動への影響を最小限に抑え込むためにも、医療・介護・

福祉、公衆衛生施策の拡充を求める意見書を国に提出するよう求めるものです。

審議では、請願趣旨についてはおおむね賛成であるが、請願項目の内容は具体性に欠けているとの意見がありました。

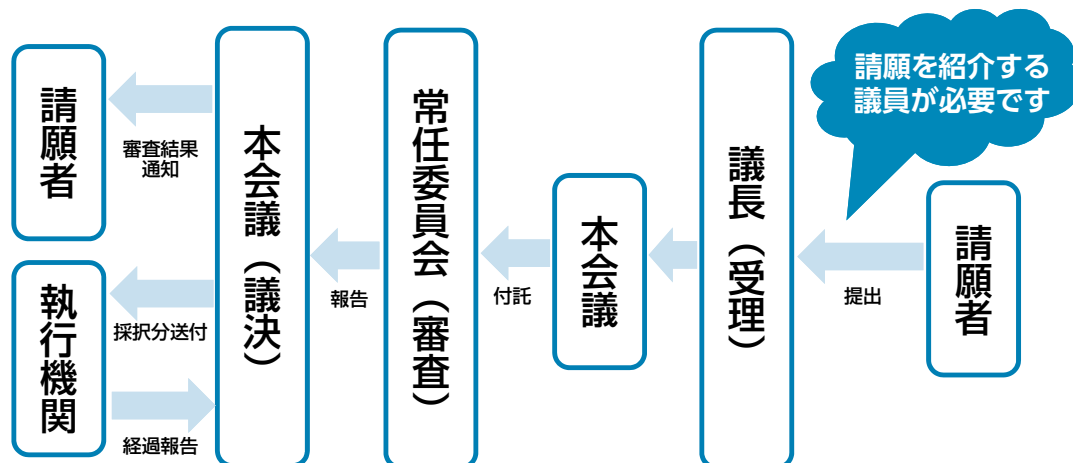
本会議での採決の結果、趣旨採択と決定しました。

趣旨採択とは？

請願について願意は妥当であるが、実現性が伴わないといった場合などにとられる決定の方法

★議会の豆知識★

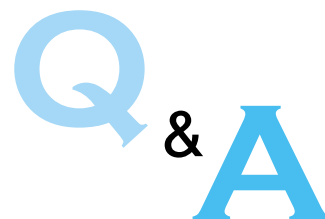
【請願の流れ】



《請願と陳情の違い》

市民が市政などについて議会に直接要望できる制度が、請願と陳情です。請願をする場合には、紹介議員が必要ですが、陳情には必要ありません。陳情の場合は、市内に住所を有する方が直接議会に持参する場合のみ審査しています。

一般質問



《質問者 8名》

※一般質問の記事は、質問した議員が各自で作成しており、内容や表現については各議員の文責において掲載しています。

P 10 小池 正夫 議員

- ◇これからの那珂市の農業について
- ◇那珂市のイベントについて

P 10 小泉 周司 議員

- ◇市街地における拠点施設等の整備について

P 11 古川 洋一 議員

- ◇新型コロナウイルスのワクチン接種について
- ◇学校体育施設の有効活用について
- ◇行政手続きのワンストップ化等について

P 11 寺門 厚 議員

- ◇地球温暖化防止活動推進状況について
- ◇改正災害対策基本法について
- ◇おくやみコーナーについて

P 12 富山 豪 議員

- ◇公用車の管理について
- ◇子どもの貧困について
- ◇県道61号日立笠間線栄橋について
- ◇自治会の課題について

P 12 原田 陽子 議員

- ◇子宮頸がんワクチンについて
- ◇「生理の貧困」について

P 13 花島 進 議員

- ◇東海第2原発関連問題について
- ◇新型コロナウイルス対応政策の今と今後について
- ◇総合センターらぼーるの図書室について
- ◇使用していない土地や建物対策の現状について
- ◇中学校の校則について

P 13 笹島 猛 議員

- ◇自治会と地域コミュニティについて
- ◇那珂インターチェンジ周辺開発について
- ◇移住・定住の促進と空き家バンクの活用について

一般質問を動画で視聴できます

QRコードを読み取ることで簡単に動画サイト（YouTube）にアクセスすることができます。



これからの那珂市の農業について

那珂市の農業政策は？

那珂市アグリビジネス戦略を策定



小池 正夫 議員

Q 那珂市においては、この5年間で新規就農者がどのくらい増えているのでしょうか。

A 産業部長 国の青年等就農計画に基づき市が認定した、認定新規就農者でございですが、平成28年度に1人、令和2年度に1人と5年間で2人増となっております。

また、認定新規就農者以外の65歳未満で新規に就農された方は、平成28年度1人、平成29年度2人、平成30年度5人、令和元年度6人、令和2年度については暫定となりますが、2人、計16人となり、認定新規就農者数と合わせた5年間で就農した人数は合計18人となっております。

Q 新規就農者を増やすための支援制度はどのようなものがあるのでしょうか。

A 産業部長 新規就農者を増やすためには、有効な制度等により効率かつ安定的な経営が図れるよう、農業の魅力を高める事が重要であると考えております。

また、県においては、経営管理・就農促進・生産技術などの講座の開催や普及指導部門による専門的な技術指導を行っております。

さらに市の支援として、今年度より認定新規就農者が機械の導入や施設の整備に係る費用に対し、50万円を上限に支援する補助事業を整備いたしました。

その他、新たに就農を目指す方からの相談につきましても、県と連携し情報共有を図りながら、就農準備から定着まで一貫した相談体制を整えております。

市街地における拠点施設等の整備について

市民と一体となった公園の整備を

関係を深め取り組んでいく



小泉 周司 議員

Q 今後のまちづくりは、人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって安心できる健康で快適な生活環境の実現や、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を可能とすることが課題です。こうした考えのもと、市街地における既存の資源を見直し、再整備する事が必要になると考えます。

宮の池公園は立地環境として保育園や幼稚園が近く、未就学児を対象とした遊具の充実と、子供たちを親が見守れる施設の設置としてはいかがでしょうか。

A 建設部長 これまで未就学児用のジャングルジムや滑り台を設置しました。今後も子育て世代により魅力を感じてもらえる整備内容を検討してまいります。

Q 両宮遊歩道を活かすた

めに、健康部門や商工部門と連携して楽しみながら歩くことを推奨できるソフト事業を展開してはいかがでしょうか。

A 建設部長 健康増進なども含めた幅広い視野を持って、関係部署と連携しながら利用環境の充実に努めてまいります。

Q 整備は市が管理は市民が行うなど役割分担した管理運営が必要ではないかと思えます。地元自治会や菅谷地区まちづくり委員会と協働した整備を進めるために、話し合いの場を持つことから始めてはいかがでしょうか。

A 建設部長 地元自治会からの要望書の提出や菅谷地区まちづくり委員会より協力の申し出もいただいております。今後も色々な機会をもって関係者の方と関係を深めてまいります。

学校体育施設の有効利用について

学校開放の利用手続きはネットで 取り組むべき課題と認識している



古川 洋一 議員

Q 小中学校の体育施設（体育館やグラウンド等）を、学校教育に支障のない夜間や土・日曜日の昼間に開放し、多くの市民が利用しています。国では、誰もが日常的にスポーツに参画する機会を確保するために学校体育施設の有効活用を提言しており、利用しやすい環境づくりが重要だと述べています。その点では、労力をかけずに簡単に利用手続きができるのが理想ですが、本市での利用手続きはどのような方法で行われていますか。

A 教育部長 利用申請及び許可の窓口は、夜間開放は那珂総合公園、昼間の開放は各小中学校と別になっています。夜間開放の利用希望団体は年度当初に利用登録をし、月ごとに窓口に出向いて申請し許可を受

けます。昼間の開放については、利用団体は直接学校長に申請して許可を受けます。申請時期は年度当初に一括あるいは月ごと使用することなど、学校長の裁量となっています。

Q 同じ学校施設を利用するのに、なぜ申請窓口が違ふのか。また、毎月窓口まで申請に出向かなければならないなど労力も必要です。そこで、それら課題を解決するため、申請許可の手続きをインターネット上で行うことで、市民の利便性が向上するとともに、総合公園・学校の業務改善や効率化にも繋がると思いますが、いかがでしょうか。

A 教育部長 インターネットでの手続きは、ご指摘のとおり様々な観点から今後取り組むべき課題と認識しています。

地球温暖化防止活動進捗状況について

2050年ゼロカーボンシティ宣言とは 2050年までにCO2排出ゼロ実現へ



寺門 厚 議員

Q 那珂市は、昨年7月に2050年ゼロカーボンシティ宣言を行っています。経緯と目的・内容はどのようなものですか。

A 市民生活部長 国は、パリ協定で共有された国際的な目標達成のために、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにする方向性を示しました。那珂市もこの趣旨に賛同し、

関東甲信越40団体73市町村と2民間事業者で構成され、北茨城市が会長を務める廃棄物と環境を考える協議会の構成自治体として、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すゼロカーボンシティ宣言を共同署名しました。ゼロカーボンシティ宣言とは、二酸化炭素排出量がなく、温室効果ガス排出において地球に害を及ぼさない都市

とすることを目的に、平均気温上昇の幅を2度よりリスクの低い1.5度に抑える一策として、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目標として、実現に向けた取り組みを推進するものです。

Q 那珂市の2050年ゼロカーボンシティ実現に向け市長の見解を伺います。

A 市長 地球温暖化の進行については強い危機感を抱いており、地球温暖化防止は取り組みなければならぬ課題と捉え、2050年ゼロカーボンシティ実現にチャレンジします。なか環境市民会議でも「地球温暖化防止は未来の子らへの贈り物。まずできることから行動を！」と発信のとおり、多くの市民の参画を促して参加型の取組を推進します。

自治会の課題について

自治会の今後について

持続可能な制度の検討を進めたい



富山 豪 議員

Q 自治会役員のなり手不足は深刻な問題であり、その原因には自治会ごとに決められた役員報酬のばらつきも考えられます。そこで、報酬を自治会の予算から全額拠出するのではなく、市からも基礎報酬として、統一基準で支出し報酬額を増やすことはできないか。今後自治会制度を守り、発展させていくためには待遇の向上が必要であると考えますが、どのように考えるのか伺います。

A 市民生活部長 自治会の役員報酬はそれぞれの自治会の実情に応じそれぞれの自治会の会則で規定されているものです。行う事業や、活動内容は様々です。で市として統一基準を策定すべきではないと考えています。また、役員報酬に充てられている市から交付さ

れている地域まちづくり交付金については、区制度より自治組織制度に移行する際、当時の区長報酬、副区長報酬、組合長報酬等の金額を考慮して定めた金額となつていきますので、現在のところ増額の予定はありません。

Q 加入者の減少、役員のなり手不足、地区公民館の維持管理等、様々な課題がある自治会制度の今後について市長の见解を伺います。

A 市長 非常に重く受け止めています。自治会制度に移行して10年を迎え、必要な制度であることを前提として様々な見直しを行つていかなければならないと感じています。担い手となる人材育成も含め、今後も持続可能な制度の検討を進めていきたいと考えます。

「生理の貧困」について

困窮している女性への支援を

根本的な問題解決に努めます



原田 陽子 議員

Q 長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により生活困窮者が増加傾向にある中、金銭的理由から生理用品の入手に苦労したことがある、あるいは生理用品を交換する頻度を減らしたことがあるなど生理の貧困の問題が明らかになりました。今や社会問題ともなつていますが、那珂市における生理の貧困の実態はどうでしょうか。

A 保健福祉部長 ふくし相談センターにおいて対応できるよう生理用品等の準備はしております。なお、先月末時点で、相談を受けて生理用品等を提供したという実績はありません。

Q 生理の貧困の背景には、虐待やネグレクト、複雑な家庭による事情なども考えられます。小中学校での児童生徒の生理の貧困の

状況を伺います。

A 教育部長 保健室では生理用品を備蓄し、希望する児童生徒に提供しております。利用する児童生徒は毎回異なっており、生活に困窮して購入できない状況は現在のところ見受けられません。

Q 経済的に困窮している女性を支援するため、那珂市でも何らかの支援体制を検討されてはいかがでしょうか。

A 保健福祉部長 総合相談窓口、ふくし相談センターの利用をしやすいように、広く周知していきます。困窮を抱えた女性が明るい生活を送っていただくためにも、根本的な問題解決のための支援が困っている方本人に届くよう、努めてまいります。

らぼーの図書室について

らぼーの図書室の現状は？

現状をお答えします



花島 進 議員

Q 総合センターらぼーの図書室の年間の利用者数と蔵書等の概略はいかがですか。

A 教育部長 令和元年度は1万6097人利用しました。蔵書数は令和3年4月1日現在で2万8340冊です。蔵書の種類としては、14の分野に分類されており、主な内訳は、文学・小説が一番多く約48%、絵本が約12%、社会科学と技術がそれぞれ約7%となっています。

CDやDVDの視聴、インターネットの閲覧サービスなどの設備はなく、図書の貸出しと返却のみを行っています。

Q 私も見えてみましたが、新しいものについては文学・小説に比べてほかのものが少なかったことがちよつと残念でした。書籍

などの年間の購入予算の状況はいかがでしょうか。

A 教育部長 令和3年度は、図書が40万円、雑誌が7万5000円、新聞が12万5000円の合計60万円となっております。那珂市立図書館と比較すると、3・5%の予算となっております。

Q 市立図書館と比較すると少ないですが、問題は、ほかの図書館との連携があるかで、そこに書籍がなくても利用できるサービスが望ましいです。ほかの図書館との連携サービスの現状はいかがですか。

A 教育部長 残念ながら、らぼーの図書室とほかの図書館、図書室との連携については、那珂市立図書館で借りた資料の返却のみとなっております。

自治会と地域コミュニティについて

防犯灯電気代を市の全額負担に

負担軽減支援を今後検討します



花島 進 議員

Q 自治会への加入率が低いところでは、防犯灯の電気代を自治会費から補てんしており、自治会の負担は決して軽いものではありません。自治会に加入している住民は、不公平感を感じています。この現状について伺います。

A 市民生活部長 電気料金、金の安いLED化の推進を図り、自治会の補てんがなく、市からの補助内で支払えれば、不公平感がなくなるかと考えています。

Q LED化の推進を図るとしていますが、設置の補助は令和4年までと聞いています。LEDの設置がすべて完了されなかった場合、補助期限の延長を要望しますがいかがですか。

A 市民生活部長 完了に至らない場合にはすべての防犯灯がLED化されるま

で予算の確保に努めます。

Q 防犯灯の電気代の負担については、各自自治会様々で、会費のみの負担のところや未加入者から電気代をいただいているところがあり、統一されなければ、地域によっては公平感が保たれないと思います。

この防犯灯の電気代を市が全額負担するという要望をしますがいかがですか。

A 市長 自治会によっては、電気料などが自治会運営の負担になっていると伺っています。LEDであれば市の補助で賄えていることから、1日でも早くLED化を図ることが負担の軽減につながると考えます。現在の補助を継続し、市内の防犯灯LED化100%を目指し、防犯灯管理が自治会の負担とならないような支援を今後検討します。

閉会中 議会活動レポート

定例会閉会中（3月～5月）の那珂市議会の主な活動をご紹介します

活動日誌

3月

- 19日 議会広報編集委員会
- 31日 議会広報編集委員会

4月

- 8日 議会広報編集委員会
- 13日 議員勉強会
- 22日 「ぎかいのおはなし」贈呈式
議会広報編集委員会取材
- 26日 議会運営委員会

5月

- 17日 教育厚生常任委員会
- 19日 議員勉強会
- 20日 原子力安全対策常任委員会
- 25日 議会運営委員会
全員協議会
議会広報編集委員会
- 28日 議会運営委員会

議会だより別冊「ぎかいのおはなし」を

小中学校・市内公共施設へ贈呈

那珂市議会広報編集委員会では、議会の役割や活動を身近に感じていただく取り組みとして、昨年、議会だよりの中で「議会ってなに？」と題し、議会のしくみを解説する特集記事を3回にわたって掲載しました。今回、その特集記事をまとめた冊子「ぎかいのおは

なし」を作成し、議会について学校で学ぶ6年生と9年生に配布するため、4月22日に市長、教育長へ贈呈しました。各校における教育の一助として活用していただければと考えています。なお、市内の公共施設にも配布しました。



「ぎかいのおはなし」贈呈式

議員勉強会

原発事故の対応を学ぶ

那珂市議会では、日本原子力発電（株）東海第二発電所の再稼働に関する議員勉強会を進めています。

その一環として東京電力福島第一原発事故の対応に当たった、前南相馬市長の桜井勝延氏を招いた勉強会を実施しました。

桜井氏は、震災当日から情報のない中での原発事故対応の体験や今の南相馬市の状況を振り返り、「最もすべきことは市民の命を守る」と訴えました。

議員からは、「当時7万人いた南相馬市では全市民の避難にどのくらいの時間を要したのか」「障がいのある人の避難はどのように

されたのか」など質問がありました。

桜井氏から、「情報が十分市民に伝わっていないかったり、避難しても自分の家が心配で戻ってくる状況もあったが、総体的に見れば3月20日過ぎには市民の大半が避難した」、「自宅で障がいを持つている方の家族を支援する体制がなかったが、ボランティアや自衛隊の協力があり、1軒1軒所在を確認してもらった。避難弱者対策は非常に重要である」との話がありました。

今後も那珂市議会として、議員勉強会などとし、見識をさらに深めてまいります。



勉強会の様子



講師 さくらい かつのぶ 桜井 勝延 氏
前 福島県南相馬市長

岩手大学農学部卒業。2010年南相馬市長選挙当選。2018年1月までの2期8年、住民主体の政治への変革を図る。3.11の試練の状況が続く中、市民と一緒に復旧・復興に邁進。米国タイム誌から2011年版の「世界で最も影響力のある100人」に選ばれる。

日時 令和3年5月19日（水）
午後1時30分～午後3時30分
場所 全員協議会室



まちかど

ニュース

新型コロナワクチン集団接種

令和3年6月21日(月)

中央公民館にて

次回9月定例会

日	月	火	水	木	金	土
8/29	30	31	9/1	2	3	4
		本会議 (議案上程など)		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
5	6	7	8	9	10	11
		総務生活 常任委員会	産業建設 常任委員会	教育厚生 常任委員会	原子力安全対策 常任委員会	
12	13	14	15	16	17	18
				議会運営委員会 全員協議会	本会議 (委員長報告、 議案等採決)	
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	10/1	2

※会議は、原則として午前10時開会です。

令和3年第3回定例会：8月31日～9月17日

令和3年第3回（9月）定例会の日程(案)は左のとおりです。

会議は原則公開となっており、所定の用紙にご記入いただくだけで、どなたでも傍聴できます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から座席数を減らしているとともに、受付で検温を実施していますので、ご理解・ご協力をお願いします。

また、請願・陳情を議会へ提出される場合は、8月20日(金)17時まで、議会事務局までご提出ください。

議会録画映像を公開しています

那珂市議会では定例会、臨時会の本会議の録画映像を「YouTube」の動画サイトで公開しています。詳しくは、那珂市ホームページの「那珂市議会」のページをご覧ください。

那珂市議会

検 索

(「那珂市議会」のページ内の「映像配信」から「YouTube」を開くことができます。)



編集後記

那珂市議会はICT技術の積極的な活用を推進しています。

今まで、議員への通信手段としてFAXを使用してきましたが、すぐに対応できるよう携帯電話でラインワークス

配信を試験的に行っています。

9月定例会から、本会議の一般質問など議場での映像を一般にライブ配信します。これからも開かれた議会を目指して参ります。

(木野 広宣)

議会広報編集委員会

委員長 小泉 周司
副委員長 小池 正夫
委員 原田 陽子
委員 石川 義光
委員 大和田和男
委員 木野 広宣